

環境意識向上に向けた 市民目線からの情報発信



吹田市民の環境に対する意識向上に向け、
学生の発想で環境・エコに関する情報発信を行っています。

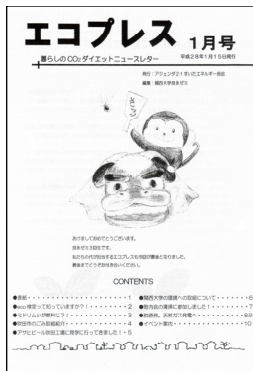
エコッキングの様子①

活動の概要

目的	吹田市民の環境意識向上とライフスタイル見直し / 学生の学習成果の見える化
連携メンバー および役割	吹田市役所、アジェンダ21すいた…『エコプレス』企画会議における掲載コンテンツの検討 吹田市内の環境に関する各種NPO法人…独自企画実施と大学への当該企画への参加依頼 関西大学生協同組合…『エコプレス』のコンテンツ「エコッキング」への食材提供等の協力 関西大学経済学部教授 良永康平…学生への指導 関西大学経済学部 良永康平ゼミ…『エコプレス』企画会議における掲載コンテンツの検討と作成、 NPO法人の独自企画へのボランティア協力
活動地域	大阪府吹田市内の公共施設および山・川等の自然 / 関西大学千里山キャンパス
活動期間	2006年～（継続中）
費用	吹田市からの『エコプレス』作成にかかる編集経費

連携の経緯

吹田市から『エコプレス』（環境問題に関する広報誌）の作成をご依頼いただいたことがきっかけとなって連携を開始。協力内容を検討する中で、同市からは『エコプレス』全体の企画作成の要望が挙げられた。そこで、市民に対して環境に関するさまざまな情報を発信することを目指し、エコ情報だけでなく環境に関する書籍・映画等、幅広く情報発信を行うこととなった。



ニュースレター『エコプレス』

『エコプレス』の取材のためのリサイクル工場（吹田市資源循環エネルギーセンター）見学

解決すべき課題

- (1) 吹田市…ごみ処理にかかる行政上の各種課題解決
- (2) 吹田市…学生・市民への環境教育の充実
- (3) NPO法人…学生の若い力の獲得
- (4) 関西大学生協同組合…環境問題に関する取り組みの実施

大学の役割

環境に関するさまざまな情報を発信するために日々活動を行っている。市民の方々にとって身近な情報をお届けするため、学生が主体となってコンテンツの提案から作成までを手掛けている。具体的な活動内容例は以下に挙げるとおり。

- (1) エコプレスの発行
この活動の核となる取り組みであり、アジェンダ21すいたの情報誌である『エコプレス』を年4回、発行している。紙面では市内のイベントはもちろんのこと、遠方での取材活動など話題性のある情報を収集・発信する。なお、掲載するコンテンツは「アジェンダ21すいた」および市役所の方々と協働で行う企画会議の中で決定している。後述する「エコッキング」もコンテンツの一つである。
- (2) エコッキング
『エコプレス』に掲載するコンテンツとして、関西大学生協同組合の協力を受け、市民ボランティアの方と共に、家庭でも実践できるエコな料理を学んでいる。食材の購入から調理方法、後片付けにいたるまで、多くの情報が詰まった企画である。
- (3) 各種イベントへの参加
環境問題に取り組むNPO法人の方々を実施するリサイクルフェア等のイベントにボランティアとして参加している。

以上のように、学生が大学の内外で学んだ情報を「見える化」して「市民目線」で情報発信することが、この活動の特色である。

成果

- (1) 学外の団体間のコミュニティ構築の一端を担ったこと
- (2) 『エコプレス』に対する市民からの多数のご意見を
得られたこと

今後の展望

- (1) 取り組みを継続すること

研究者の紹介



経済学部 教授
良永 康平
(よしなが こうへい)

福岡県久留米生まれ。1981年一橋大学経済学部を卒業。経済統計学、国民経済計算論、産業連関論が専門。現在の研究テーマはEUと地域の統計。学生に社会で生き抜く力を身につけさせることを目指し地域での学びを実践している。



エコッキングの様子②